

中級統計学：宿題 5

村澤 康友

提出期限：2024 年 12 月 3 日

注意：すべての質問に解答しなければ提出とは認めない。授業の HP の解答例の結果を正確に再現すること（乱数は除く）。グループで取り組んでよいが、個別に提出すること。解答例をコピーした場合は提出点を 0 点とし、再提出も認めない。すべての結果をワードに貼り付けて印刷し（A4 縦・両面印刷可・手書き不可・文字化け不可）、2 枚以上の場合は向きを揃えて問題番号順に重ね、左上隅をホッチキスで留めること。

1. gretl は代表的な確率分布の pdf や cdf をプロットできる。正規分布の pdf をプロットする手順は以下の通り。

- (1) 「ツール」→「分布グラフ」を選択。

- (2) 「正規分布」のタブを選択。

- (3) 「平均」と「標準偏差」を入力。

- (4) 「OK」をクリック。

グラフ上で右クリックして「曲線を追加する」を選択すれば、複数のグラフを重ねて表示できる。他の分布についても同様。

- (a) $N(0, 1)$, $N(1, 1)$, $N(2, 1)$ の pdf を重ねてプロットしなさい。

- (b) $N(0, 1)$, $N(0, 2)$, $N(0, 3)$ の pdf を重ねてプロットしなさい。

- (c) $\chi^2(1)$, $\chi^2(2)$, $\chi^2(3)$ の pdf を重ねてプロットしなさい。

- (d) $t(1)$, $t(2)$, $t(3)$ の pdf を重ねてプロットしなさい。

- (e) $F(1, 1)$, $F(1, 2)$, $F(1, 3)$ の pdf を重ねてプロットしなさい。

- (f) $F(1, 1)$, $F(2, 1)$, $F(3, 1)$ の pdf を重ねてプロットしなさい。

2. gretl は代表的な確率分布の擬似乱数を生成できる。 n 個の正規乱数を生成する手順は以下の通り。

- (1) メニューから「ファイル」→「データセットの新規作成」で新しいデータセットを作成。

- (2) 観測数を n とし、その他の質問には適当に答える。

- (3) メニューから「追加」→「ランダムな変数」を選択。

- (4) 「正規分布」のタブを選択。

- (5) 「平均」「標準偏差」「名称」を入力。

- (6) 「OK」をクリック。

他の分布についても同様。生成された乱数の度数分布は「変数」→「度数分布」で確認できる。

- (a) $N(0, 1)$ の乱数を 1000 個生成し、ヒストグラムを描きなさい。

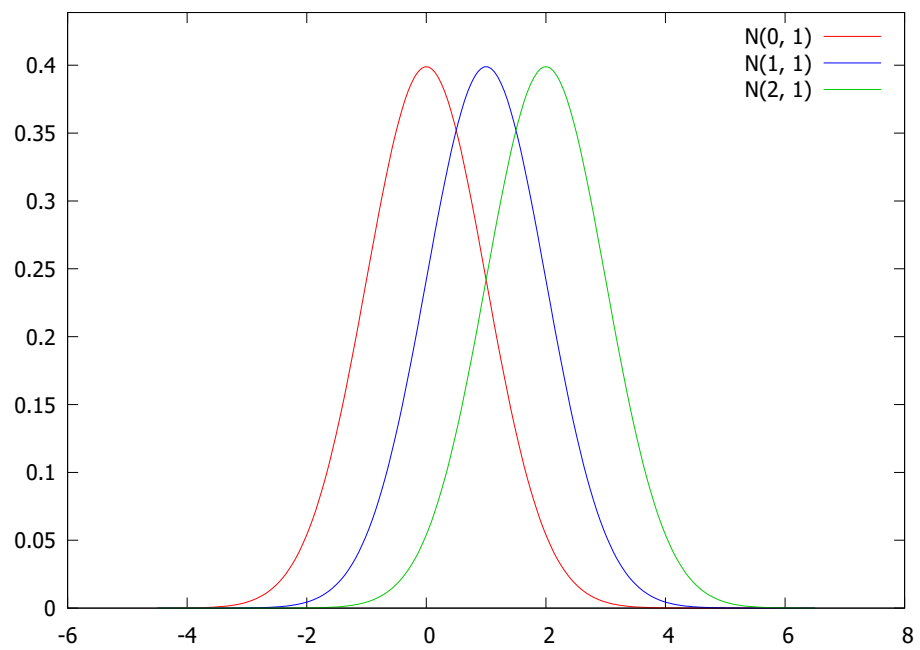
- (b) $\chi^2(1)$ の乱数を 1000 個生成し、ヒストグラムを描きなさい。

- (c) $t(1)$ の乱数を 1000 個生成し、ヒストグラムを描きなさい。

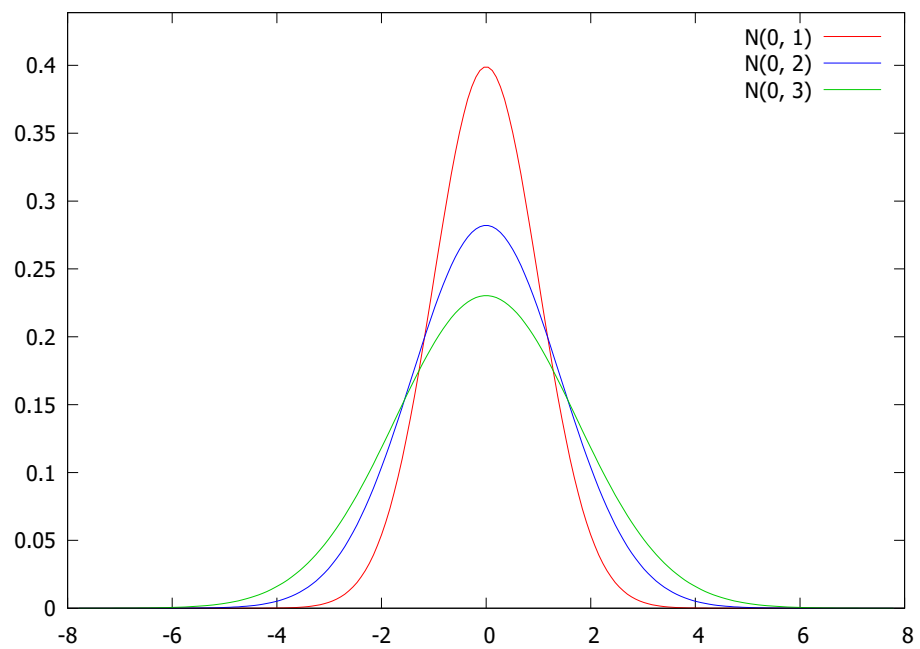
- (d) $F(1, 1)$ の乱数を 1000 個生成し、ヒストグラムを描きなさい。

解答例

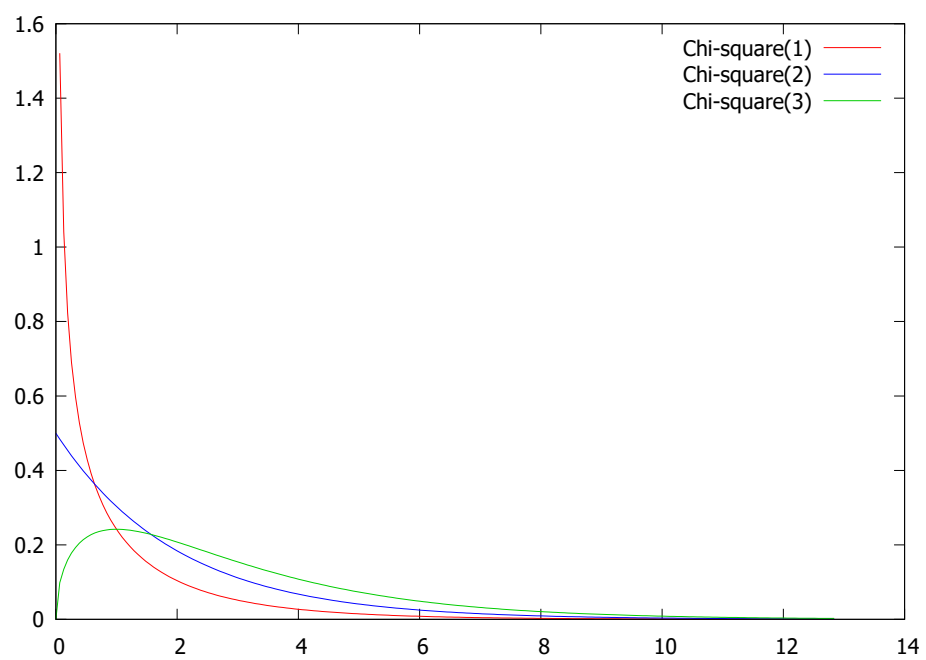
1. (a) $N(0, 1)$, $N(1, 1)$, $N(2, 1)$ の pdf



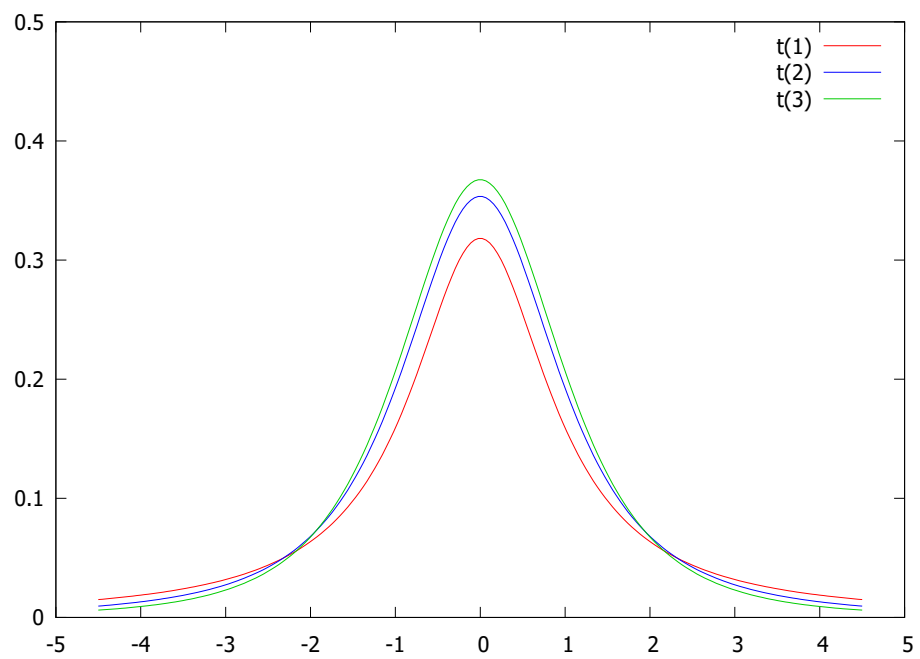
(b) $N(0, 1)$, $N(0, 2)$, $N(0, 3)$ の pdf



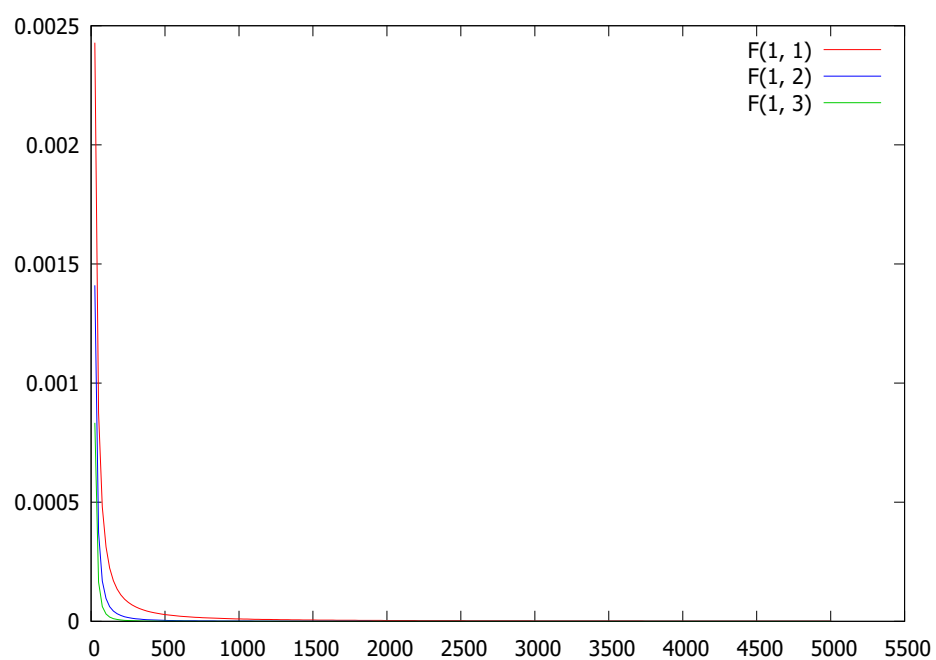
(c) $\chi^2(1)$, $\chi^2(2)$, $\chi^2(3)$ の pdf



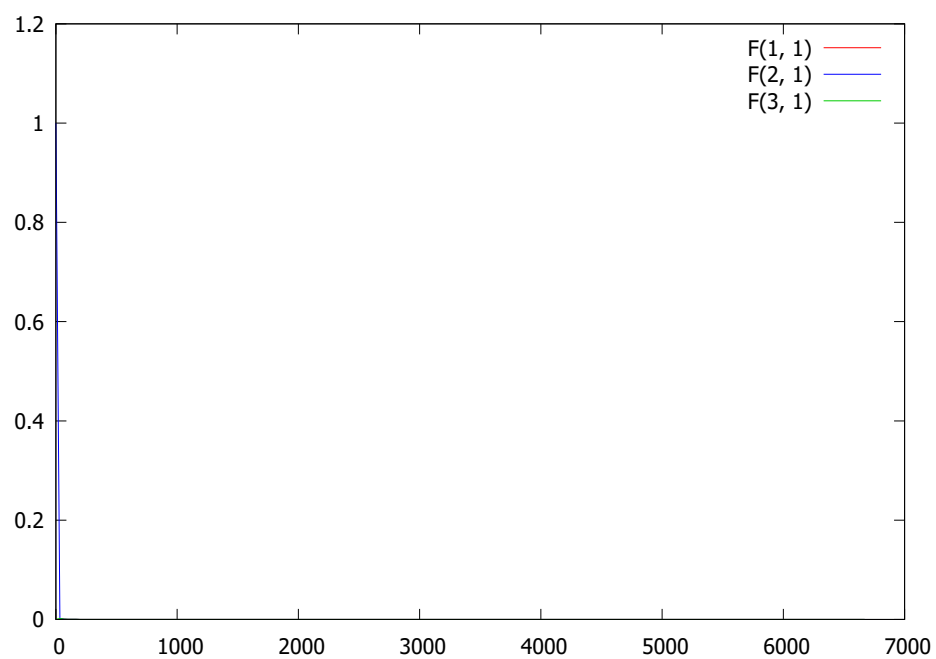
(d) $t(1)$, $t(2)$, $t(3)$ の pdf



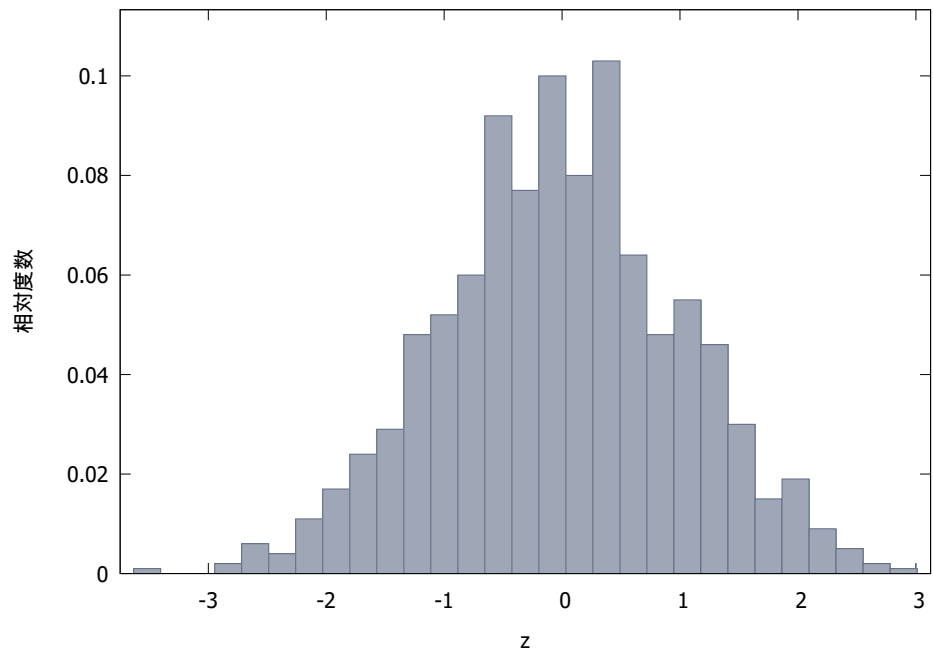
(e) $F(1, 1)$, $F(1, 2)$, $F(1, 3)$ の pdf



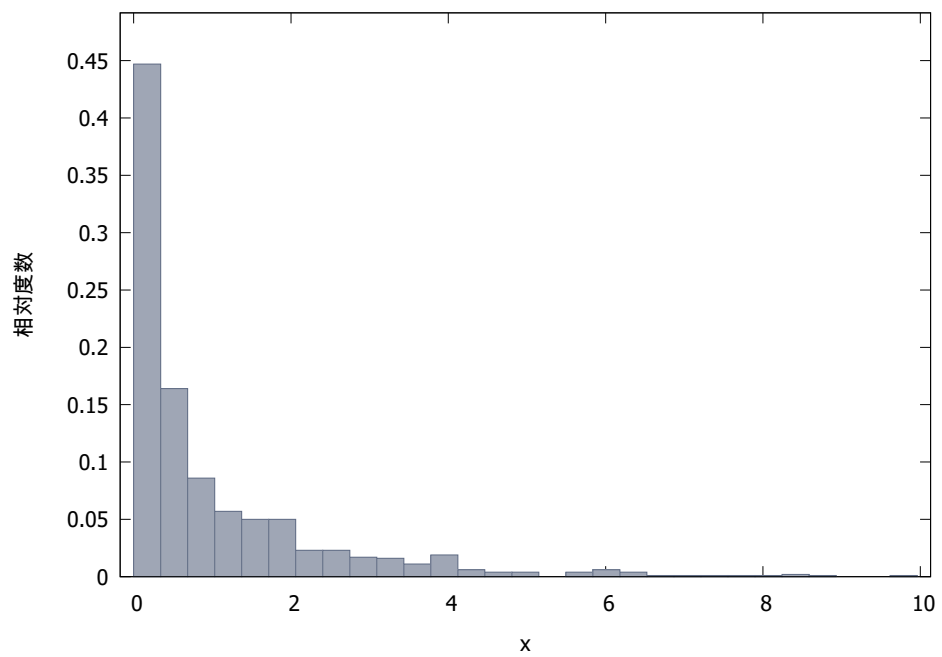
(f) $F(1, 1)$, $F(2, 1)$, $F(3, 1)$ の pdf



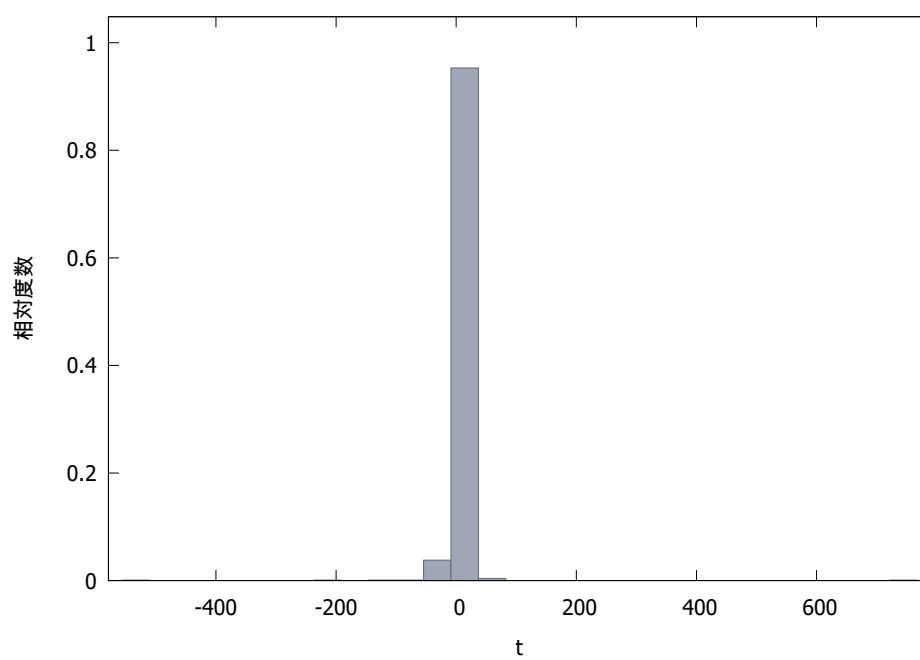
2. (a) $N(0, 1)$ の乱数のヒストグラム



(b) $\chi^2(1)$ の乱数のヒストグラム



(c) $t(1)$ の乱数のヒストグラム



(d) $F(1,1)$ の乱数のヒストグラム

